

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q 建築物の環境品質							2.8
Q1 室内環境			0.40		-			2.9	
1 音環境		3.4	0.15	2.8	1.00			3.2	
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	0.40				
1.2 遮音		5.0	0.40	3.6	0.40				
1 開口部遮音性能	開口部遮音性能:T-2以上。	5.0	1.00	5.0	0.30				
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20				
1.3 吸音		1.0	0.20	1.0	0.20				
2 温熱環境		2.0	0.35	2.0	1.00			2.0	
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50				
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57				
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43				
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-				
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20				
2.3 空調方式		1.0	0.30	1.0	0.30				
3 光・視環境		3.3	0.25	3.6	1.00			3.4	
3.1 屋光利用		4.2	0.30	4.2	0.30				
1 屋光率	共用部分:2.5% ≤ [屋光率]。 宿泊部分:1.25% ≤ [屋光率]。	5.0	0.60	5.0	0.60				
2 方位別開口		-	-	-	-				
3 屋光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40				
3.2 グレア対策		3.0	0.30	4.0	0.30				
1 屋光制御	カーテン、庇を組み合わせて制御。	3.0	1.00	4.0	1.00				
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15				
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25				
4 空気質環境		3.6	0.25	3.5	1.00			3.5	
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63				
1 化学汚染物質	JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	4.0	1.00	4.0	1.00				
4.2 換気		2.0	0.30	2.6	0.38				
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33				
2 自然換気性能	自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上。	-	-	4.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	1.0	0.33				
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-				
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-				
2 喫煙の制御	ビル全体の禁煙が確認されている。外部には、喫煙コーナーを設置していない。	5.0	1.00	-	-				
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			2.8	
1 機能性		2.2	0.40	4.0	1.00			2.7	
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60				
1 広さ・収納性	個室10㎡/床で、かつ多床室8㎡/床以上。	-	-	5.0	1.00				
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-				
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-				
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.5	0.40				
1 広さ感・景観	住居・宿泊部の天井高2.5m以上。	-	-	4.0	0.50				
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-				
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50				
1.3 維持管理		2.5	0.30	-	-				
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-				
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50	-	-				
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-			3.0	
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30	-	-				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	病室:床長尺塩ビシート2.8、壁ビニールクロ(PBt12.5×2)、天井ビニールクロ(PBt12.5×2)	5.0	0.10	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水VLP(B)、給湯SUS(C)、排水VP(B)、Eは不使用。	5.0	0.20	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-				
2.4 信頼性		2.8	0.20	-	-				
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-				
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-				
3 電気設備		3.0	0.20	-	-				
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-				

	5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	
3		対応性・更新性		2.9	0.30	2.7	1.00	2.8
	3.1	空間のゆとり		2.8	0.30	2.4	0.50	
	1	階高のゆとり		2.0	0.60	2.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ	共用部分:0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3。	4.0	0.40	3.0	0.40	
	3.2	荷重のゆとり		3.0	0.30	3.0	0.50	
	3.3	設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3		室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.5
	1	生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
	2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
	3	地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR		建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.1
LR1		エネルギー		-	0.40	-	-	3.1
	1	建物外皮の熱負荷抑制	[BPI][BPI _m] = 0.73。	5.0	0.20	-	-	5.0
	2	自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
	3	設備システムの高効率化	[BEI][BEI _m] = 0.90	2.5	0.50	-	-	2.5
	4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
		集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
		集合住宅の評価		-	-	-	-	
	4.1	モニタリング		-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2		資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.3
	1	水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1	節水	節水コマなどに加えて、省水型機器(節水型便器など)などを用いている。	4.0	0.40	-	-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
	2	非再生性資源の使用量削減		3.3	0.60	-	-	3.3
	2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	床:長尺塩ビシート、タイルカーペット。	4.0	0.20	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	「躯体+軽鉄+仕上げ材」により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。	4.0	0.20	-	-	
	3	汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	3.3
	3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
	1	消火剤		-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0	0.50	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3		敷地外環境		-	0.30	-	-	2.9
	1	地球温暖化への配慮	LCGCO2排出率92%。	3.3	0.33	-	-	3.3
	2	地域環境への配慮		2.8	0.33	-	-	2.8
	2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
	3	周辺環境への配慮		2.7	0.33	-	-	2.7
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	1.00	-	-	
	2	振動		-	-	-	-	
	3	悪臭		-	-	-	-	
	3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
	3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3	光害の抑制		1.6	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70	-	-	
	2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	